

平成 26 年度事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 国元



平成 27 年 6 月

平成 26年度事業活動の概要

一般財団に移行して最初の年に当たる平成 26 年度は、糸川嘉則代表理事(理事長)、堀田国元常務理事その他の 5 名の理事(小宮山寛機、芝燁彦、中山武久、藤原功一、森澤紳勝)、および 2 名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)を役員として事業運営をスタートした。しかし、糸川嘉則理事長の急逝(平成 26 年 8 月 31 日)により混乱が生じたが、代表理事(理事長)に堀田国元、常務理事に小宮山寛機(事業担当)と中山武久(財務担当)、新理事として矢野一好が選任され、3 名の在任理事と併せて 7 名で理事会を構成し、事業運営に当たった。事業活動に関しては、従来の基本財産の額をベースに確定された公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて事業活動を行った。以下にその概要を示す。

1. 機能水及び機能水生成器に関する研究助成事業の推進

研究公募を行い、審査を経て以下のアルカリイオン水研究に研究助成した。

1) アルカリイオン水の作用機序に関する研究

①内藤裕二(京都府立医科大学准教授): 腸内環境分析から明らかにする飲用アルカリ性電解水の機能性

2) 骨に対するアルカリイオン水の作用機序に関する研究

①高橋 玲(同志社女子大教授): アルカリイオン水による骨組織リモデリング調節機構の解析

②佐藤 勉(日本歯科大学東京短大教授): アルカリイオン水による酸蝕症予防効果とエナメル質の再石灰化促進効果

3) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

①小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部教授): 運動に伴う疲労や酸化ストレスに対するアルカリイオン水の生理作用

②早川享志(岐阜大学応用生物科学部教授): アルカリイオン水の抗酸化効果に関する水素の意義と食事要因の解明

2. 機能水及び機能水生成器に関連する調査研究事業の推進

調査研究推進のために、以下の各種委員会を立ち上げて検討を行い、種々の研究委託等を実施した。

1) 内視鏡洗浄消毒器委員会: テーマ: 「機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用手引き第 2 版」の作成

2) 次亜塩素酸水標準化委員会: テーマ: 使用マニュアル作成、装置の JIS 化

3) 口腔領域次亜塩素酸水評価委員会: テーマ: 歯科領域における微酸性電解水使用指針の作成

4) 飲用アルカリ性電解水評価委員会: テーマ: アルカリイオン水の作用機序その他の研究

5) 機能水技術認定委員会: テーマ: 機能水技術認定制度(仮称)の確立

<研究委託>

1) PED(豚流行性下痢症)ウイルスに対する次亜塩素酸水の不活化効果試験: 株式会社食環境衛生研究所

2) 溶存水素水の定量法による誤差要因の解明について: 菊地憲次(滋賀県立大学特任教授)

3) アルカリイオン水の食材成分抽出効果に関する研究: 数野千恵子(実践女子大学生活科学部教授)

4) 次亜塩素酸水による野菜洗浄殺菌の標準化に関する研究: 泉 秀実(近畿大学生物理工学部教授)

綾部園子(高崎健康福祉大学教授)

5) アルカリイオン水の口腔内環境および口腔内微生物に対する影響の解析:

佐藤 勉(日本歯科大学東京短期大学教授)

3. 機能水及び生成器等に関する成果の普及・促進事業の推進

1) 機能水研修会などの開催

日本機能水学会第 13 回学術大会(平成 26 年 10 月)、および同支部会(関東・関西)との共催で研修会を実施。

2) 展示会: 機能水に関する正しい知識と生成器の展示を行い、それらの啓発

ifia JAPAN 2014 やフードセーフティジャパンにおいて展示ブースの出展と講演を実施した。

3) 指針やガイドブック等の機能水及び生成器に関する正しい知識をまとめた冊子・パンフレット等の作成

4) 特別会員の活動の支援

日本機能水学会、ウォーター研究会、関西ウォーター研究会、日本口腔機能水学会、アルカリイオン整水器協議会、微酸性電解水協議会、NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会の会議、講演会、研修会などの事業活動の後援や実務支援を実施。

5) 機能水技術認定制度の実施要項の構築に向けての検討を進めた

6) 機能水及び生成器に関する情報の発信

①ニュースレター： 年間計 6 号 (No.59～64) を刊行(隔月)。

②ホームページ： 事業報告書、決算書を含め公益性のある情報を中心に機能水に関する情報発信を実施。

7) コンサルティング

機能水に関する賛助会員、公共団体、一般等からの各種問合せへの応対

以上